

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：令和5年5月15日(月)
(2023年)

地域企業紹介 No. 84

株式会社明輝社

若い力で 明るく輝く社会を創る！

電気工事を主業とする株式会社明輝社の創業者で代表取締役の飯田美津雄社長を相模原市南区栄町の本社に訪ねました。

平成 22 年 9 月設立の同社は、電気工事業をはじめ、電気通信工事業、消防設備工事業、土木工事業、管工事業、機械器具設置工事業の建設業許可を取得し、主に大手サブコンの一次下請け業者として事業を展開している。主な事業内容は、①私鉄鉄道施設の電気工事全般、②工場・ビルの受変電設備工事等、③店舗等の電気・通信・空調工事、④オフィスのリニューアル工事全般、⑤照明リニューアル（LED化等）・業務用空調設備の新規設置などを幅広く手掛けている。現在、神奈川県・東京都等に 60 社余りの協力会社を持ち、大手サブコンからの信頼も厚い。

そんな同社の一番の特徴は、社員 25 名の平均年齢が 30 歳と若いこと。中小企業の人材採用が厳しい中、人事・労務を担当する専門部署を設置して、県内の高校などを中心に訪問しながら若手人材の採用活動に積極的に取り組んでいる。ホームページでは若者に興味を持ってもらえるようにマンガを取り入れ、YouTube などの SNS も活用。その結果、4 年連続で毎年 2 名ずつの新卒採用が実現している。今年度は新卒者 2 名とキャリア人材 2 名の計 4 名が入社した。もう一つの特徴は、ヘルメットに安全帯・安全靴を身に付けて現場で活躍する女性が多いこと。女性ならではの気配りや丁寧な作業でお客様からの評価も高い。このように若い社員が多い同社では、入社 3～4 年目の先輩社員が新入社員に 365 日寄り添って指導する“メンター制度”を設けて人材育成に取り組んでいる。また、技能講習や国家資格取得へ挑戦する機会を提供するとともに、人間学を学ぶことを目的とした月刊誌「月刊致知」を読んで、その感想文を書き話し合うことで“人間力”を高める「木鶏会」(勉強会)も開催している。同社のミッションに「自ら考え、自ら学び、自ら行動できる技術者を育成し活躍できるよう積極的に機会を提供していこう」と掲げる通り、今後も人材育成に積極的に取り組んでいきたいと飯田社長。

そんな飯田社長は相模原市中央区清新の生まれ。これまで相模原から出たことがなく、相模原は自分の人生の舞台そのものであり、大切なふるさとだという。小さい頃は雑木林で昆虫採集や少年野球に熱中。高校生時代はアルバイト代を全部つぎ込むほどオートバイに乗るのが好きだったそうだ。その後、電気の専門学校を経て電気工事会社に就職。電工として3年間の施工を経験したのち、現場監



代表取締役	: 飯田 美津雄 (いいた みつお)
所在地	: 神奈川県相模原市南区栄町4-23
従業員数	: 25名
資本金	: 2,000万円
事業内容	: 総合電気設備工事 (電気工事、電気通信工事、計装工事、空調工事等)
URL	: https://www.meikisya.jp/

督として私鉄施設や駅設備の改修工事を担当するとともに複々線や高架化などの工事にも携わる。鉄道施設の工事は夜間工事が多く乗客のいない限られた時間内で成果物を出さなければならず、始発時に電車が動かなくなるような事故を起こさないよう細心の注意が強く求められる仕事だ。そのほか、商業施設・オフィスビル等の新築から改修工事まで、現場での様々な経験を持つ。10年間の会社員時代では、電気の知識や技術を身に付け、人と人のコミュニケーションをとりながら、努力して事業を成功させていくまでのプロセスに仕事のやりがいや喜びを感じていたという。

起業のきっかけは、会社員時代に地元の先輩に誘われて入会した相模原青年会議所（JC）で、同世代の若手経営者から多くの刺激を受けたこと。会社設立後は、経営をより深く学ぶために産業能率大学経営マネジメント学科（4年制通信教育）に入学。日々の仕事に加え、JCの活動を続けつつ、週末は大学で勉学に励むという多忙な日々が続く。設立から5年で電気工事業の許可を取得すると請負金額も社員数も順調に増えていったが、設立10年目に新型コロナウイルス感染症の影響で、受注工事の約90%を占めていた鉄道関連の仕事が完全に途絶えた。とにかく仕事を獲得できるよう奔走した結果、知人の紹介から千葉県の大型マンションの電気工事を受注。それを皮切りに大手サブコンからの仕事も獲得でき、一社依存体制からの脱却も図れた。社員たちが会社の危機を理解し頑張ってくれたことでその危機を乗り越えられたと飯田社長はいう。

今後の展望は大きく2つ。まずは建設業の許認可を一般から特定にすること。もう一つは人材や雇用形態の多様化に積極的に対応していくこと。すでに、今月からスロバキア出身者の採用が決まっているそうだ。当人の知識・技術の向上はもちろん、いまの日本では経験できない経験や考え方が、若手社員に刺激を与えてくれることを期待しているのだという。一方、もし社員が独立をしたいと言ってきたら全力で応援するという。そうした社員のために6年間で独立できるスキームを構築しており、人材採用のPRポイントにもなっているそうだ。

お客様の幅広いニーズにお応えできる組織づくりと業容拡大を目指す株式会社明輝社。これからも施工技術や人間力の向上に加え、SDGsにも積極的に取り組み、社会に明るさと輝きを提供してくれる若さ溢れる社員の皆さんと常にポジティブで元気な飯田社長に心からエールを贈ります！



明輝社の若手社員の皆さん（前列 2023年入社、後列 2022年入社）

超微小液滴塗布ディスペンサー 「フェムトスポッター」を開発！

入居企業紹介

84

DiNOV 株式会社

デジタル技術とデータサイエンスを活用し、製造業の課題解決に取り組む DiNOV 株式会社の出島秀一社長にお話を伺いました。

令和3年（2021年）9月に創業した同社。当初は Desk10 に入会しましたが、令和4年10月に SIC-1 Startup Lab. のスモールオフィスに移転。そして、令和5年3月には、開発環境のさらなる拡充が必要になったため、SIC-2 Creation Lab. のセミラボに移転するなど、着実に事業を成長させています。

長年にわたり、レーザーを用いた微細加工技術の研究開発等に携わってきた出島社長。これまでに、国内外の研究機関で研究員を務めてきたほか、営業・マーケティング分野の業務にも従事するなど、多岐にわたる知見・経験を有しています。

同社の事業は、超微細レーザー加工などを手がけるデジタル・ファブ事業、データ通信システムのデジタル・コミュニケーション事業、そして AI を用いたシステム開発のデータサイエンス事業が三本柱です。最近では、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「戦略的創造研究推進事業（CREST）」で採択された研究プロジェクトにも参画するなど、その

技術力は高い評価を受けています。

そんな同社で新たに開発したのが、超微小液滴塗布ディスペンサー「フェムトスポッター（Femto-Spotter）」です。開発や製造の現場では、はんだペーストや接着剤などの液体を微量だけ塗布することがあります。特に最近では、半導体や電子部品などの小型化・薄型化が進んでおり、液体制御分野でも超微細加工のニーズが高まっています。しかし、液体ごとに粘度や粒子の有無といった違いがあり、条件に合わせた液体制御が難しく、目詰まりなどのトラブルも少なくありません。そこで同社では、AI 技術を活用し、これまでは難しいとされてきたフェムト（千兆分の一）単位で制御可能なディスペンサーを開発しました。これにより、塗布時のトラブル防止に加えて、加工精度や速度も大幅に向上しました。

本ディスペンサーは、はんだペーストや接着剤以外にも、導電性金属ナノインク、マイクロビーズ、光学樹脂、生体材料など幅広い液体に対応可能で、高価な液体でも最後の1滴まで使い切れる点も特長の一つです。また、チップマウンターへの搭載やレーザー加工機との統合といったカスタマイズにも柔軟に対応でき

ます。

「バラツキ」「塗布量」「加工速度」など、顧客の要望を汲み取りながら、デモ機による実験を通して最適な提案・コンサルティングにつなげています。本技術は電子産業や医療・バイオ分野での活用も期待されるほか、大学・研究機関での導入も見据えています。また、最近は海外からの引き合いも増えてきており、早期のグローバル展開を計画しています。

「現場の困りごとに耳を傾け、今までにない技術で課題解決に貢献したい」と語る出島社長。DiNOV では、デジタル技術とデータサイエンスの力で、ものづくりの可能性を広げていきます。



DiNOV 株式会社
SIC-2 Creation Lab. 2701 号室
<https://www.dinov.jp/>



今回は事業承継についてお話します。

まず、事業承継と事業継承、「承継」(しゅうけい)と「継承」(けいしょう)。一見して同じような言葉に見えますがどちらが正しいのでしょうか。「継承」とは前任者の地位や身分そのもの(王位継承など)や、前任者が獲得した財産的権利、会社で言えば、経営権など「具体的」なものを受け継ぐのに対し、「承継」は、前任者の代のもの的一切を受け継ぐ、というように「継承」よりも更に広く、より抽象的な意味で使われるようです。

以上を踏まえて、改めて、なぜ会社を次の代に引き継ぐことを事業「承継」と言い表すかといえば、先代が会社に対して有していた権利、義務、財産一切を受け継ぐから、ということになります。事業承継はいわば会社の相続ともいえますが、相続は「被相続人から相続人に対する財産上の権利義務の承継」と定義されることから、やはり、事業「承継」が正しい表現であるといえます。

次に、事業承継の中身について深掘していきます。事業承継とは、「会社の経営権、資産」を後継者に引き継ぐことです。「会社の経営権」とは、直接的には会社の社長や取締役会など会社の意思決定、業務遂行権ですが、中小企業においては究極的には株式です。

なぜならば、中小企業では同族会社や殆ど社長に全株式、それに近い株式が集中しているいわゆる「ワンマン会社」が多くを占めており、株主＝社長という図式が当てはまるためです。株式会社を始めとする法人では株

式割合を多く占めている株主がいれば社長や取締役の選任、解任を自由に決められるといっても過言ではありません。そのため、中小企業では「会社の経営権」＝「株式」といえるのです。

そして、「資産」です。会社が所有する土地、建物等の不動産を相続するにはどうすればよいのでしょうか。それは、会社の全株式を相続すればいいのです。会社が不動産を所有していることと、全株式が不動産を所有していることは同じです。ものすごくシンプルに表すと、株式が不動産を所有しているようなものだからです。したがって、事業承継により後継者が「経営権」＝「全株式」を相続すれば、後継者は会社が所有する不動産、そして、不動産に限らず、会社が所有している不動産を相続したのと同じことになるのです。

ところが、会社が運営するのに必要な不動産は全て会社所有とは限りません。会社代表者が個人的に所有する土地や建物を会社が借りる形で事業を営んでいる例も少なくありません。そのため、会社＝株式を相続するだけでは、会社経営を安定して行うことにならない場合もあるのです。なぜならば、会社の敷地や事業所である建物を他の相続人が相続して、会社に対して明渡を求めるといった事態も起きかねないからです。このように会社の敷地や事業所が会社代表者の個人資産である場合には、株式とは別に相続しなければならないのです。

最後に、事業承継にあたって、これまでは

経営権や財産、社長の知的財産等、会社のプラス面にスポットを当ててきましたが、当然、会社のマイナス面も考えなければなりません。事業承継をする時点で会社が借金を抱えている場合は、会社を承継したことで借金が消えるわけではありませんから、会社の借金も承継するということになります。そして、会社の借金について社長自身が連帯保証していれば、社長から相続をする時に、この連帯保証している部分も相続することになります(例外については次回以降改めてお話します)。



弁護士法人 高瀬総合法律事務所
代表弁護士 高瀬 芳明

「中小企業の成長は日本の未来を明るくする」「都心と同じサービスをローカル価格で提供する」ことをモットーに、中小企業の課題解決に特化し全力を注いでおります。特に、M&A や IPO 支援までカバーできることが弊所の特徴です。

カフェトガシ

リバティ大通りに面する「カフェトガシ」。発酵促進剤を使わず、酵母や材料も厳選したパンは、自慢のコーヒーとともに朝9時から販売が始まります。またイートインは訪れる時間と季節ごとにメニューが変わります。今回はランチタイムにお邪魔し、限定5食のラーメン、オムライス、今月のパスタを注文しました。ランチはすべて自家製で、手打ちの麺はパンを扱うお店ならではの力強さを感じました。

地元田名の卵や果物、ご自宅で採れた食材から作られる一品一品は、パティシエからキャリアをスタートした店主の確かな技術と旬のおいしさが光ります。

ドイツでは幸せの象徴であるテントウムシが目印のお店で、幸せな時間をお過ごしください。(佐藤)



お店と同じく温かな雰囲気のあるご夫妻



あっさりとしたラーメンは低温でじっくりとスープをとっています。



一番人気のクロワッサンは100%バターを使用。

【所在地】 神奈川県相模原市中央区中央1-10-15
【営業時間】 9:00～18:00(火～金)、9:00～17:00(土)
ランチ 11:00～14:00 ティータイム 14:30～
【定休日】 日曜日・月曜日 ※詳細はインスタグラムで
【TEL】 042-707-1800
【URL】 <http://www.cafetogashi.com/>
【Instagram】 <https://www.instagram.com/cafetogashi/>



「ニュービジネスリーダー」育成セミナー

22年目のSIC経営塾
塾生募集中！

時代に打ち勝つ『経営力』の育成を目的として、平成14年(2002年)に開講したSIC経営塾は、これまでに200名以上の方が受講し、経営塾で学んだことを経営の場で実践しながら第一線で活躍しています。

本年も、7月からの全10回の講義で、先端的な企業のケーススタディーを通じ、経営の理論と実践を学ぶとともに、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を育成することを最終目的としています。

【開催期間】	令和5年7月～令和6年2月
【会 場】	(株)さがみはら産業創造センター、 サン・エールさがみはら 他
【対 象】	中小企業経営者または 経営者に準ずる経営幹部
【受講料】	220,000円(税込)
【問い合わせ先】	(株)さがみはら産業創造センター 事業創造部 中村・片山



詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sic-sagamihara.jp>

令和5年5～7月 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

5月24日(水) ロボットSler & 生産技術者向け 3D CAD 活用術

7月8日(土) SIC経営塾 開講 (～令和6年2月)



入居企業を募集しています。

SIC空室情報 (令和5年5月15日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費込・消費税込)
SIC-1 Startup Lab.	1	108,240円
○セミラボB (31.5㎡)	1	70,620円
○スモールオフィスB (17.3㎡)		

最新の情報はウェブサイトをご確認ください。

製図や設計だけじゃない！ロボット Sler &
生産技術者向け 3D CAD 活用術

今やロボットSlerの必需品になりつつある3D CAD。しかし、ソフトによって機能や操作感、価格帯が異なるため、「選定・使い分けのポイントや効果的な活用術を知りたい」といった声が聞かれます。一方、製造業の生産技術者からは「3D CADは難しい」という悩みも聞かれます。

本セミナーでは、構想設計に強みを持ち操作性に優れた“IRONCAD”を事例に、その導入効果からロボットシミュレーターによるデジタル検証まで、設計効率化につながる3D CAD活用術をお伝えしていきます。

【こんな悩みを抱える方に!】

特殊な治具や装置が多い、工程変更が頻発し対応が大変、
部門間の情報共有や事前検証で苦労している など

【開催期間】	令和5年5月24日(水) 15:00~17:00
【場 所】	サン・エールさがみはら(2階・第1研修室)
【定 員】	先着20名(1社2名まで)
【参 加 費】	無料
【対 象 者】	治具や装置・設備の設計に携わる方 ※市外企業の参加OK! 所属・役職も不問!
【講 師】	株式会社クリエイティブマシン 東京営業所 小野寺 康隆氏
【内 容】	(1)機械設計者あるある? 3D CADを用いた 工場設備や治具の設計時に直面する課題 (2)イメージづくりの時間短縮やスムーズな 情報共有! 3D CADの導入効果 (3)CADを知り尽くす機械設計会社が驚いた! IRONCADの実力と活用事例 (4)設計とデジタル検証をCAD上で同時進行! ロボットシミュレーターの活用法
【問い合わせ】	(株)さがみはら産業創造センター 事業創造部 樽川・村山 Email robot-center@sic-sagamihara.jp

編
集
後
記

明輝社では、毎年全社員が「今年の目標」を漢字一文字で表し、色紙にしたためています。同社のオフィスには、「誠」「学」「穩」「鍛」など、さまざまな思いが込められた漢字が壁一面に並んでいました。皆さんは、今年の目標を漢字一文字で表すなら、どんな言葉が頭に浮かびますか?



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。ウェブサイト <https://www.sic-sagamihara.jp/>